

No.678 (改題638号)
2025年
12月10日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三蔵工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

核タブー死守し「抑止論」脱脚を

11・19兵庫憲法集会 「総がかり行動兵庫」が主催



共同通信論説委員の太田昌克さんが「核の力オスの時代と日本の針路」と題した講演を行った＝11月19日、神戸市中央区

太田昌克さんが講演

戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫実行委員会が、「5・3兵庫憲法集会」につづく秋の行事として呼びかけた「戦争させない、9条壊すな！11・19兵庫憲法集会」が11月19日、神戸市内で開かれ、会場が満席となる100人が参加した。集会のメインは共同通信論説委員の太田昌克さんの講演。「人類と核の80年、核の力オスの時代と日本の針路」と題した講演で、太田さんは核をめぐる世界史的に力オスとなっている現在の特徴について語り、そのなかでの日本の進むべき道についての問題を行った。



太田昌克さん

講演に先立ち、実行委員会を代表して羽柴修弁護士（9条の心ネットワーク）があいさつ。「戦後80年、被爆80年から来年はプラス1の年、高石政権が非核3原則の見直しさえ言い出す危険な状況があるが、戦後80年続

けられてきた平和を守る運動とその教訓を糧にさらに平和を守り続ける運動を強めなくてはならない」と訴えた。

続く太田昌克さんの講演は、いま世界は「核の力オス」の時代であるとして、核実験をほめかすトランプ大統領の動向やウクライナ侵略を止めようとしないロシア、さらに軍拡を進める中国の動向など、各国の核保有の具体的な状況もあげながらそれぞれの核戦略についての検討や、「核抑止力」の拡大傾向が世界的に広がる核軍拡につながりかねない今日の事態の指摘から始まった。

また、そのことに関連して、高市政権による非核3原則の見直しについても言及。世界で唯一の被爆国である日本が「核を持ち込ませず」の原則

を変更することになんかの緊急性も合理性もなく、逆に他国の軍拡を促進させかねない悪影響の大きさに警鐘を鳴らした。

そして、日本が立ち返るべき原点は、80年前の被爆の実相であることを強く説いた。

さらにまとめ、いま私たちが真剣に考えないといけない日本の針路は、戦争をしない仕掛けをどうつくるのか、核・武力によらない「抑止力」をどう構築していくのかだと提起し、日本が大国間の橋渡しの役割を果たすことの大きさを強調した。

集会の最後には事務局から、来年は個人からの賛同も受ける（賛同金は1000円）。

関生弾圧許さぬ連帯の強化を

労働組合つづしを許さない兵庫の会が総会

2018年7月から19年11月にかけて、普通の組合活動をただで組合員が延べ81人も逮捕され、うち延べ66人が起訴されるという全日建関西生コン支部（以下、関生支部）に対する前代未聞の異常な刑事弾圧は、労働組合や労働運動つづしをねらったものであり、すべての労働組合にかかわる問題だと結成されたのが、「労働組合つづしを許さない兵庫の会」。同会は11月14日、第6回総会を神戸市内で開いた。

総会の冒頭、会の呼びかけ人を代表して岩佐卓也さん（専修大学教授）があいさつ。「いま、世界的に労働組合の権利が後退させられている。が、一方で労働者の抵抗があるのも世界共通だ。関生支部への攻撃のような労働組合への弾圧を許さないたいは世界のたた

かいの一部。このたたかいの決着をつけることが世界に対する私たちの責任だ」と訴えた。

事務局から提案された活動方針案では、新たな重点活動として、関生支部の仲間を招いて生の意見交換や交流の場を数多くつくり出して弾圧のたたかいを広げようとの提起があった。

第2部は記念講演で、



総会冒頭の主催者あいさつで関生弾圧への反撃を呼びかける岩佐卓也専修大学教授＝11月14日、神戸市・中央区文化センター

水脈

わが国初の女性総理の誕生だ。ジェンダーギャップ指数118位（政治分野125位）の国でガラスの天井は破られたのか▼若年世代を中心に、高い支持率が続く。軍事同盟強化には驚くほど積極的だ。外国人対策は枕詞とは裏腹に、排外的な政策が見え隠れする。「責任ある積極財政」の財源も具体的な内容は全てこれからだ。女性大臣もわずか2人▼それでも高い支持率は、何を期待してのものだろうか。40代の女性は、どう頑張っても、女には昇給も役職も遠い存在だった。高市さんも自民党という最も男社会の中で総裁の座につくには相当な苦勞があったに違いない。だから、思想がどうかの以前に応援したい」と言う▼初の女性総理が歯切れよく答弁する様子に、必死に働いても苦勞続きの生活が少しは変わるのではとの期待があるという。中国への強気な姿勢も今は評価が高い▼だが準備が進むのは、軍事費の対GDP比2%前倒しと3%への道。武力行使に近づく集団的自衛権行使を巡る積極性、安保3文書の見直し、非核三原則の見直しなどだ▼ガラスの天井を破り権利や平和を青空の中に見出す力、不満から目先を逸らすための「女性活用」からは出てこない。女性たちよ、声を上げよう。

ひょうご 描き歩き 167



加古大池

（加古郡稲美町）

ため池の数が2万2千と日本最多の兵庫県の中で、満水面積が最も大きいのが稲美町のこの加古大池で、甲子園球場12個分の大きさ。稲美町には2番目に大きい天満大池があるほか、県下ベスト5の4つがあり、まさにため池の町。水に乏しかったこの地域では農業用水の確保に苦勞し、水争いも度々起こっていた。そこで少ない水を溜めておくためにため池が多つくられた。

最初の加古大池は万治3年（1660年）に築造が始まり、十数年かけて6つのため池と導水路が完成。時代が進み、新田開発・発展とともに徐々に増築されていった。加古大池は大池、中池、北池の3つからなり、それぞれの池を巡る遊歩道が整備されていて、距離を選んで散歩できる。最も長い1周コースを辿ると3キロ、途中に野鳥の観察施設や水生植物園などもあり、農業施設としての機能だけでなく、生態系保全機能も持っている。池の干潟ではシラサギやアオサギ、鵜などが佇んでいた。広々とした水面でカヌーやウインドサーフィンなども楽しめる。中央部に多目的広場やシャワー室を備えた管理棟などがあり、スポーツやコミュニティの場としての設備も充実している。駐車場もあり、平日にもかかわらず多くの人が憩い、ジョギングやウォーキングを楽しんでいた。スケッチ



チ画は池を繋ぐめがね橋。（嶋倉

私の主張

円安は輸出関連企業の利益に貢献し、株価は高騰する。日本で最高の円高は2011年10月の1ドル75円台で、直近は1ドル175円台だから同じ原価と仮定すると、企業の利益は2倍以上になる。だが食物やエネルギーは2倍以上高価で輸入

大義がないトランプ氏のディールに寄り添う危険な高市総理
トランプ氏は当初のウクライナ和平案の28項目を、ウクライナと米国内の抵抗もあって19項目に修正した。また、ニューヨーク市長選挙では、真向からトランプ氏の政策に反対したゾーラン・マムダン候補を共産主義者と罵って、彼が当選すればニューヨーク市への補助金を停止すると恐喝した。だが、マム

核弾頭攻撃を受ける可能性が生まれたことだ。だが、大義のないディール（取引）のトランプ氏は約変するので、先走って付度する高市総理が梯子を外される危険がある。
国会で台湾有事における日本の不戦決議を
1972年の日中国交回復時における共同声明は、「中華人民共和国政府が、台湾は中華人民共和国の領土の不可分の一部である」とを重ねて表明する。日本政府はこの中華人

民共和国政府の立場を十分に尊重し、ポツダム宣言第8条に基づく立場を堅持すること」で合意した。中国政府が「台湾問題は中国の内政問題」と主張する根拠はここにある。しかも日台は貿易で往来しているが、日台間の国交は断絶している。この現状を踏まえて日台問題を考察すると、台湾有事は中国の内政問題であり、日本の有事ではない。しかし、国会で誤った高市総理の発言は、日本が台湾有事で参戦する危険を中国に認識させた。
だが米中首脳会談でトランプ氏は、台湾有事に関する高市発言に触れていない。アメリカファーストだとして、日本は、台湾が日米安保条約の適用地域であるにもかかわらず、アメリカの助けを借りられない。しかし、核弾頭と長距離ミサイルを持つ中国を相手に、日本は台湾有事だと参戦できない。現代戦は大量破壊と大量殺戮をもたらすからである。だが、一寸先が見えない高市総理では解決できないので、日本は台湾有事に参戦しないという国会決議をするように国民運動を組織すべきである。同時に、中国は内政問題だが武力行使でなく、民主的平和的に解決するように世界の世論を盛り上げる外交努力をすべきである。
柳田勘次（憲法を生かす須磨区の会世話人）

時代錯誤で矛盾が多い高市政策
高市政権の政策は、戦略と問題の軽重によるプライオリティ（優先順位）がない。発言と実行が八方美人だから筋が通らず、矛盾と粗さが目立つ。たとえば少子高齢化を無視して、17・7兆円を超える大型補正予算や、21・3兆円の経済対策を決めた。自民党の河野太郎は「コロナの前は補正予算が10兆円を超えたのは、アジアの通貨危機、リーマンショック、東日本大震災などの時だけ」と指摘し、タガが外れたのか、為替や金利など市場の声を耳を傾けるべきだと、Xを更新して批判した。まさにその通りで、10月20日の東京外国為替市場は、高市政権の経済政策を懸念して円が下落し、157円台の円安になった。

台湾有事は中国の内政問題
日本の不戦の国会決議を

される。しかも自給率は食料が2023年度はカロリーベースで38%、エネルギーが15・1%だから、円安で生活費が高騰して庶民の生活は苦しくなる。高市総理は「台湾の有事（戦争）が日本の存立危機事態になりうる」と国会で述べたが、台湾海域が戦争になって日本の輸入が止まれば、日本国民は干乾しになる。したがって高市円安参戦総理の国家戦略は、短絡的で認められない。

ダニ氏など3人の民主党候補が地方選挙で圧勝すると、トランプ氏はマムダン市長との協調を表明した。トランプ氏には大義や戦略がなく、ディール（取引）だけがある。台湾有事は「存立危機事態になりうる」と高市総理が国会で答弁したので、中国は日本が台湾有事には参戦すると認識した。日本政府が存立危機事態を、自衛隊が武力行使可能な事態と定義しているからである。そこで考えられるのは、米軍の基地がある日本は、ミサイルの

再審法の改正を求める

過去の冤罪事例から再審法を考える
部落解放第32回北播研究集会

加藤孔明弁護士が過去の冤罪事件の事例をもとに再審法の問題点を詳しく解説した＝11月24日、西脇市

兵庫県弁護士会再審法改正検討部会・部会長の加藤孔明さんが、「五大死刑冤罪事件」の事例を示しながら詳しく解説をした。冤罪とは「無実の罪」であり、再審開始が決定した場合、刑事訴訟法による再審により審理がやり直される。袴田事件は、昨年9月26日、事件から58年後に無罪が確定した。

再審法の問題点は、2段階手続き（再審請求と再審公判）になっていて、再審請求の「前捌き」といわれる裁判をやり直すかどうかの判断をする手続きがある。加藤さんは、「ここが一番大きい問題点だと指摘した。現在、法制審議会で再審法改正について議論がされており、第11回会議が11月26日に開かれた。」（戸田）

新社会党
女性委員会

全国の活動交流と講演

第24回全国女性党員・党友交流会



東京を拠点にサテライト開催された交流会には兵庫から12人がオンライン参加し全国の仲間と交流した＝11月16日、神戸市中央区

新社会党女性委員会が主催する第24回全国女性党員・党友交流会が11月16日、東京・林野会館をメイン会場にしてサテライト開催され、兵庫県本部からは12人がオンライン参加した。

改革と介護保険」と題した講演に学んだ。交流会での、参政党の台頭のなかでも東京・葛飾区議選で激戦を勝ち抜いた水摩雪絵議員の発言や、入党したばかりの兵庫の若い党友の発言は、困難の中だからこそ、学習や集まりを続けることで希望はつくっていくものだと感じさせた。

全国の仲間の繋がりが感じられた。今回参加した北海道、埼玉、東京、兵庫、四国、九州の仲間に加え、今後は他県や同県からも参加メンバーをもっと増やし、温かさのある繋がりが、お互いの取り組みの工夫、熱い思い、さらには悩み等に学び合える全国女性委員会がつくれたらなど感じた。女性党員の数、物理的距離、健康事情など各県の条件は様々だが、オンラインなども活用して拡がっていかないと希望を感じた。（森正美）

紙の健康保険証を残せ

憲法を生かす会・兵庫が学習会

マイナ保険証をめぐっては、2022年に当時の河野太郎デジタル大臣が、マイナカードを普及させるために、突然、健康保険証を廃止しマイナ保険証に一本化すると、閣議決定や国会決議もないうちに記者発表を行い、その後、多くの市民や医療関係者から批判が出て未だに混乱が続いている。同会は、これまで「紙の健康保険証を残すべきだ」とあらゆる機会に訴えてきたが、マイナ保険証の利用率は8月現在で34・4%に留まり混乱は収まっていないなかで、マイナ保険証と紙の保険証の併用を求める声を広げようと、この学習会が

(西田)

神戸港の軍事使用に反対する討論集会

●12月14日(日) 14時

●神戸市・中央区文化センター・11F

●参加費500円

●主催：神戸港の軍事使用に反対する会

〈連絡先〉090・9713・3294(和泉)

「市民デモHYOGO」の将来像を考える

秋の交流会でワークショップ

結成10年の「市民デモHYOGO」

結成10年を迎えた「こわすな憲法!いのちとくらし!市民デモHYOGO」は11月16日、垂水区内で「秋の交流会」を開き、約50人が参加した。

「市民デモHYOGO」はこの10年間、原発、沖縄、憲法、いのちとくらしなど、さまざまなテーマに取り組んで来たが、

県内の市民運動グループが緩やかに繋がるネットワークとしての役割を果たす一方、県知事問題、ガザ問題をはじめ取り組むテーマや課題も多様化するなかで、各団体では高齢化問題、運動の広がり、困難など共通の課題を抱えている。そうしたなか、今年1月の新年交



ワークショップの前段に上前万由子さんからSNSを活動した東アジアの市民社会運動についての報告が行われた＝11月16日、神戸市垂水区

交流会では、「平和とくらしと人権を大切にする社会づくりをめざす市民運動のためのプラットフォーム」という新しい共通理念を確認した。今回はその確認にもつき、市民デモHYOGOの将来像」を共に考え、今後どう具体化するのかをテーマに開かれた。

交流会ではまず、上前万由子さん（「異路」代表）が「東アジアのSNSを活用した市民社会運動」について報告。デジタルを活用して台湾や韓国の市民活動が政治を動かしていく様子が解説され、ソウル市では市の予算で有給インターンを最長2年間雇うことができると報告された。

その後、6つのグループ

PFASの子どもへの影響を考察

基調講演と全国からの取り組みから学ぶ

明石神戸PFAS汚染と健康を考える会

「未来像」について議論を行い、各団体からのアピールも受けて交流会は終了した。（中村）

「未来像」について議論を行い、各団体からのアピールも受けて交流会は終了した。（中村）

基調講演では、高橋雅恵さん（多摩地区のPFAS汚染から命と健康を守る連絡会世話人、高木基金PFASプロジェクト事務局長）が「日本とPFAS 世界はなぜPFASを懸念しているのか」と題して講演した。

「有機フッ素化合物PFASは、あらゆる製品に含まれ、特に子どもへの影響が大きい。新生児が母体からその緒を通じてPFASを取り込むことで低出生体重児（2500g以下）との関係が想定されている。日本は、OECD（経済協力開発機構）中で低出生体重児の割合が最も多い。米国環境保護庁の論文によると、『血中PFASが2倍になるたびに、その



講演や各地からの報告のあとパネルディスカッションも行われた＝11月15日、神戸市中央区

子どもは抗体の半分を失う」とあり、低出生体重児として生まれた子どもは、発熱が頻発におこり、病気がかりやすく、将来的な発がんなどに繋がる可能性があるとの指摘がある。日本の食品安全委員会は、PFASが健康に影響するとの論文を除外する一方、低評価の論文を追加し、健康を守るための規制値とはかけ離れた基準だ」などと指摘した。

講演会ではほかに、

地域ユニオン あちこちあれこれ

郵政労働者の集配業務の出勤時の「点呼」でアルコール検査を実施せずに集配業務をさせていた

ことが報道されている。近畿支管内178局中140局でアルコール検査をしない集配業務を行っていたとの報道もあったが、播磨地域でも加東市のある集配センターでアルコール検査を実施せずに配達をさせていた。

はりまユニオンの郵政の組合員の3人中2人が集配業務を担っている。

郵政労働者の「点呼」問題を考える

話す機会があったので「点呼」について実情を聞いてみたら、こんな答えが返ってきた。

「点呼」でのアルコール検査は必要だと思うが、アルコール検査機器は壊れていて正確な数値は出ない。管理者もそのことを分かっていて放置している。重要とは思って

こんなことでもいいのか考えさせられた。「飲酒」で運転して事故を起こしたら「生命」に関わることで、利用者の郵便物をダメにする被害も出

し、「点呼」を労務管理に使った。「点呼」では整列させ、「経理理念」を唱和させてアルコール検査をした。酒気が残った臭いが出たら業務から外さ

が通るので仮眠ができず、酒の力を借りた。静かに仮眠ができる部屋があれば事故は回避出来ていたと考えられる。「点呼」でアルコール検査もい加

減になっていた。利用者の「生命」のみならず、労働者自らの「生命」の問題だ。大切な「郵便物」も輸送し、配達する。労働者は、「生命」と「安全」を守る

「点呼」については、労務管理に利用されず、正しいあり方の議論が求められる。岩本義久（はりまユニオン書記長）

身体をいたわる年末にしましょう。

高止まりのまま年の瀬を迎えるお米価格。政府は、おこめ券の配布などを検討していますが、食べずに待つことはできません。根本的なコメ政策が必要ですね。さて、11月からささや米の白米について、値下げいたしております。少しでもお求めやすくと、相談の結果です。「古古古古」米まで使用する備蓄米や、各産地なども混合しているブレンド米と比較すると「高い」です。でも、長年お客様から「やっぱり美味しい!」の声をいただいてきました、でかんしょ米、ささや米は、ともに味は折り紙付きの地元兵庫県・篠山産のこしひかりです。どこに出しても間違いのない銘柄米です。外食の機会も多い年末ですが、ぜひ、ごはんといかず汁で体をいたわってください。



でかんしょ米	5 ^{kg}	4,630円	（消費税込 5,000円）
でかんしょ米	3 ^{kg}	2,778円	（消費税込 3,000円）
ささや米・白米	5 ^{kg}	4,537円	（消費税込 4,900円） 11月から値下げしています。
ささや米・玄米	5 ^{kg}	4,445円	（消費税込 4,800円）

ぴいぶるは、農業者への戸別所得補償と、食品への消費税廃止・減税など消費者の負担軽減を求めます。

(有)ぴいぶる

電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

今、大きな悩みを抱えている。人からすれば「そんなこと？」と思われるかもしれないが、毎日のことなので私にとっては大きな悩みである。

それは、睡眠がしっかりとれないことだ。

母の認知症発症からそれは始まり、今ほとんどひびくっている。睡眠時間が短くても平気な人はいるが、私は昼寝を2時間しても夜7時間以上は寝られていたので、今の平均5時間以下の睡眠時間は本当に辛い。昼寝も全くできなくなった。だからいつも頭がぼーとしていて、寝たいのに眠れない。

「5時間ならいいじゃないか」と思われるかもしれないが、眠くなって布団に入って寝付くまで2時間はかかり、そのあいだ悶々としている。3時間程度しか眠れない時もあり、頭をかきむしるほどの気持ちになることもある。

だから睡眠に関する情報には敏感で、今までいろんな方法を試してきた。睡眠学の権威と言われている先生の「上質な睡眠をとる方法」も実践した。①部屋を暗くする、②お風呂は眠る2時間以上前に入る、③眠りに入る呼吸法を実践する（息を8カウント吸って8カウント吐く）など。夜、仕事でできないこともあ

今の私の最大の悩み

「ガー」を寝る前に飲むことを続けてみた。効果は？ これもまた、ない。飲む時間が悪いのかと、夕食後、お風呂入り、寝る直前と飲んでみたが、改善しなかった。

ジムの人に勧められたGABA入りのシークワサーも飲んだ。ジムの仲間が「これ飲んだら朝までぐっすりだったわ」「トイレに起きずに眠れたわ」と効果があったのに、私は全く効果なし。



(ユニオンあしや・H)

まあ、すっぽくておいしいので気に入って飲んでいますが、やはり効果のあるものが欲しい。

また、疲れた方がいいのかと夜1・5キロくらい歩くのも試してみたが、余計に興奮状態になるのではないかなとわれ、怖くなって今はやめている。

眠れない日が続き、しんどさがピークになったら睡眠導入剤を循環器内科に処方してもらっている。でも飲むが、これも効果がでない。これを飲んだら眠れる！と思ってしまっているのか、却って頭が冴えてしまうのだ。

「どうしたらいい？」

「どうしたら上質な睡眠がとれる？」という人々に聞き、いろんな人がアドバイスをくれる。自分に合った方法を見つけないといけないだろうが、それがみつかるだろうか。今までいろいろと試し、効果がないので余計に疲れている。「疲れきったら眠れるよ！」と聞き直したらいいのだから、とにかく心行くまで眠りたい。そしてすっきりと目覚めたい。「あー、よく眠れた！」と言ってみたい。

今の私の最大の悩みは睡眠である。

『平等についての小さな歴史』

トマ・ピケティ著／広野和美訳／みすず書房／2500円＋税

トマ・ピケティが脚光を浴びてから10年以上、書店に並ぶ著作の数も増えている。とはいえ、センセーションを起こした『21世紀の資本』が本文600頁超、その姉妹編『資本とイデオロギー』が900頁を超える大部の著作。読むにも骨が折れるし、決して安価ともいえない。

そこで紹介する本書は、「もう少し短くまとめて書いてもらえたらいい」との読者の要望に応じて、自ら「これまでの研究を要約」「主な教訓を総論的に紹介」したもので、ピケティ本人の著作に当たっておくには適当な一篇かもしれない。共通するグラフや前2著の詳述箇所も示されている。

ピケティの功績は、「18～19世紀から21世紀初頭に至るまでの所得と資産の分配に関するデータ」に丹念にあたることで、「富の分配の

平等への歴史的動きへの確信

努力が結集した「世界不平等データベース」に結実している、集团的営為だ。

1914～1980年には、所得および資産の富裕層への集中が低減し格差が縮小している傾向があり、「大再分配」と規定される。これは、社会運動・組合運動が原動力となり、戦争や世界恐慌で加速した社会国家化が、累進性を強めた税収を使って教育、保健医療、社会保障への支出を増やしたこともたらされた。しかし、1980年代以降の「保守革命」「新しい財産主義」により、貧富の差は再

び目に見えて拡大し始める。これらが、データでもって確認され、「20世紀の経験から、富裕層の頂点にいる人々にほとんど没収に近い税率を適用することで格差是正を実現することが実証された」ともいう。そして、社会国家と累進税による徹底的な改革は、「環境に配慮し、多様な人種が共生し、分権化され、自主的に管理する新しい形の民主的社会主义に向かう重要なステップとなる」として、具体的な政策案も示される。

あえず整えた一時的な妥協案のようなもの」でも、意見を一致させる協議や実験的作業を重視する。

ピケティの仕事は、あくまで「比較歴史研究」であり、歴史から抽出された貴重な材料の提供として扱うことが肝要だ。たとえ資本主義把握についての方法論の違いがあっても、細部をあげつらうだけでは、得られるものも得られない。彼の「力関係を変えるには、市民が経済に関する知識を得ることがひとつの重要なステップだ」という姿勢は、ファクトをおさえるうえでの信用に値するものだろう。

なお、『資本とイデオロギー』で示された、世界的な左派政党の労働者党から高学歴党への変質、「社会自国主義」というカテゴリーなど、今日の世界政治を考える上での興味深い提起については、残念ながら大著の方に当たってみるしかない。（上野 義昭）

※本稿も、新社会政策委員会発行の『新社会政策委員会ニュース』第109号（25年5月1日）から転載させていただきました。転載が2号つぎで申し訳ありません。

【編集部】

お坊さまと鉄砲

ほとんどの国では、命がけの闘いによって民主化を勝ち取り、不断の努力によって維持している。しかし、ブータンでは、テレビや携帯電話が普及し始めた2006年、国民に慕われてきた国王陛下が退位の意向を発表し、民主主義体制

へ移行することが決まった。そして、初めての普選が行われることになったが、国民は選挙とか民主主義ということが分らない。そこで、政府は、国民を啓発して選挙の仕組みを伝えるために、模擬選挙を計画する。周囲を山に囲まれたウラ村にも選挙委員がやってくる。そしてまず、住民の登録が開始される。

山で修業中の高僧ラマは、弟子の僧侶であるタシに「4日後の満月までに銃を2丁手に入れてく



れ」と指示する。とまどうタシにラマは、「物事を正さねばならぬ」と話す。タシは銃を探しに村に下りていく。しかし、1800年代にイギリス領インドと戦争が起きて以来、ほとんど戦争が無かった国に銃は存在するのだろうか。

ちょうど時を同じくして、銃コレクターであるロンがブータンに到着した。ウラ村に昔の貴重な銃があると聞きつけ、アメリカからやってきたのだ。ロンはウラ村でその銃を見つけ、買取りの交渉を行う。その村人は、ロンの提示した額に「そんな

にたくさんはいらない。もっと安くしてくれ」と言う。明日に現金を持ってくる約束をして、ロンが帰った後、タシがやっと銃をラマの元にどうしても届けてはならぬ。1丁しか手に入らなかったが、もう明日が満月の日だ。

タシが、銃を2丁欲しがっていることを知った

シネマランド

初の選挙に揺れる小さな村の騒動

ロンは、銃のカタログを見せ「どれでも2丁選べ」と言う。タシは、テレビで007を見た時のボンドが持っていた銃が欲しいと言う。そんな高級な銃はすぐには手に入らない。ロンは、インドの密輸組織と交渉し、その銃を手に入れる。その日は、すでに満月の日であった。村人が集まって新しい仏塔を立てる儀式が始まった。そこで、なぜラマが銃を必要としたのかが明らかになる。

全体的にコメディタッチで進展していくが、笑えないシーンもある。模擬選挙は、無事終わったが、民主化をめぐる様々な人間模様が展開し、考えさせられる。選挙による

作／112分